

# 農校舎問題に対する教授会

## 回答によせて

教授会は次の様に、我々の質問状に対して、答えた。

回答書

昭和43年10月11日付貴学生会よりの質問状に  
対しつぎの通り回答する。

第三校舎建設に關しては、4号棟内の移転、4  
号棟の取りこめしおよび第三校舎内実験室の内  
部設計（配電が又配管排水照明等）に關する綿  
密な打合せを行った後、7月下旬（8月上旬）  
に、専門設計業者が実施設計図を制作した。こ  
のため若干の時間を費した（9月20日完了）。  
完成後もつとも早い常勤理事会（10月8日）に  
実施設計図が提出された。以上の説明を経時的  
に明5分にしたものが附表の通りである。  
工事完成予定は44年8月末日であるが、昭和  
44年度の授業実施計画には支障を生じない。  
（以下省略する）

回答は来た。我々は思ひ返す。六二〇団交に於  
て、八月着工が陶山前学部長によつて約束された事  
を。然し、現状は旧態を留めてゐるにすぎない。  
前期工事は第三期工事として、しかもそれは共同  
溝工事をもつてすりがえられてゐるのだ。加えて  
その計画の具体的なものも全く伏せられたまま  
あるのだ。我々が要求して来た八月着工、四月完成  
は、農学部再編の理念を保障する最低限度の目標で  
ある。が然し、回答書には全くその理念が見られず、  
教授会の誠意をも見出すことも出来ない。我々の  
要求した内容は、単なる事務的な経過報告でござ  
らぬ。又工事完成予定と、44年度8月着  
工と引きあはし、授業実施計画には支障を生じない  
などと言うが、現実の不安は募る計りである。  
我々はこうして不明瞭な点を強く批判してわか  
ければならない。

——農学部一年統一会議——